

# 石巻市スポーツ推進計画 **概要版**

## 1 計画策定の趣旨【本編P2】

本市では、2017年度（平成29年度）から2026年度（令和8年度）までを計画期間とする「石巻市スポーツ推進計画」（以下「前計画」という。）を策定し、「スポーツで心と体を健康に～スポーツのまち石巻～」の基本理念を実現させるため、「生涯にわたるスポーツ活動の推進」、「競技力向上に向けたスポーツ活動の推進とスポーツ環境の整備」、「スポーツ活動を支える環境づくりの充実」を3つの柱として基本施策を設け、スポーツの推進に取り組んできました。

前計画期間において、スポーツは東日本大震災からの復興の支えとなっており、震災に立ち向かう強い意志を表し、震災で寄せられた支援への感謝と復興状況を全国の皆様に向けて発信することを目的に開催された「いしのまき復興マラソン」や、東日本大震災の復興支援と震災の記憶を未来に残していくことを目的に“応援してたら、応援されてた”のキャッチフレーズで開催された自転車イベントの「ツール・ド・東北」などの各種イベントを全国各地から参加選手を招き開催できたことは、「スポーツのまち石巻」の復活を象徴させ、市民に大きな希望と感動を与えてくれました。

また、本市においては、スポーツに関する事務を市長部局に一元化することで、社会的課題に対応し、まちづくりの観点から事業展開を推進する体制を整えるとともに、2023年（令和5年）3月に設立した「いしのまきスポーツコミッション」が行うスポーツ合宿や大会・イベント等の運営支援を実施しています。

そのような中、2022年（令和4年）3月に策定された国の第3期スポーツ基本計画や、2023年（令和5年）3月に策定された第2期宮城県スポーツ推進計画を受け、スポーツを取り巻く現状と課題を整理し、これまでの計画の理念を踏まえ、本市の目指すべき姿や目標を定め、その実現に向けて取り組むべき施策の指針とするため、計画を改訂します。

## 2 計画の位置付け【本編P3】

石巻市スポーツ推進計画（以下「本計画」という。）は、スポーツ基本法に基づく「地方スポーツ推進計画」であり、国のスポーツ基本計画及び宮城県のスポーツ推進計画を参考にし、本市の最上位計画である第2次石巻市総合計画との整合を図り、スポーツ行政のビジョンと方向性を示すものです。また、本市の各分野における関連計画との連携を図ります。

## 3 計画期間【本編P3】

本計画の計画期間は、2025年度（令和7年度）から2034年度（令和16年度）までの10年間とします。

なお、本計画は、計画の進捗状況、国の政策動向等の変化に応じて、中間点（2029年度（令和11年度））に必要な見直しを実施する予定です。

## 4 石巻市のスポーツ推進の課題【本編P 21～22】

### 課題1 スポーツ参画の障壁解消（始めるきっかけづくり）

本市のスポーツ実施率を高める、つまり週1回以上運動する人を増やすためには、実施頻度を高め習慣化させる施策が有効です。そのため、スポーツ実施そのもののハードルを下げることやきっかけづくりとして、スポーツを“みる又は知る”機会を提供し、動機づけを行っていく必要があります。



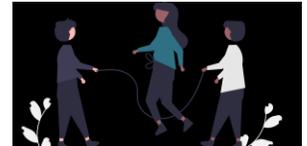
### 課題2 民間連携も含めた人的リソースの地域内共有

近年、教職員の働き方改革に端を発し、休日の部活動の地域移行に関する対応が注目されていますが、本市においては、地域指導者の担い手不足や、人口減少に伴う平日の部活動の維持という観点から、学校教育現場だけでは、これまでのように地域のスポーツ機会の受け皿を担うことは困難になることが考えられます。住んでいる場所によってスポーツ活動が制限されることがないように、地域が保有する人材や民間連携も含めた指導者等を最大限活用し、機会を提供していく必要があります。



### 課題3 子どものスポーツ推進

成人期や高齢期の生活習慣の基盤や、モチベーションとなる目標は幼少期に定着するものと考えられ、各世代のスポーツ実施率を高める上では、今の時点での各ターゲットへの対応もさることながら、その根源である子どもへの対応は、将来の成人期や高齢期に影響を与える施策とも捉えることができます。このことを鑑み、ライフステージやライフスタイルに応じたスポーツ活動の推進、特に子どもに対する推進が課題となっています。



### 課題4 既存ストックをフル活用したスポーツの場づくり

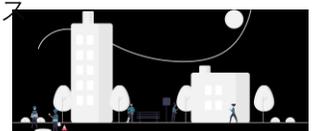
施設までのアクセス性や予約の取りやすさ等、既存施設が効果的に使われていない理由を究明した上で、その解決策を講じることによって最大限活用を進めることが求められます。

また、公共のスポーツ施設としての場の提供のみならず、効果的・効率的な活用を進め、民間施設や学校施設、オープンスペース等も含め、あらゆる既存ストックを最大限活用し、誰もが気軽にスポーツにアクセスできる環境を提供していく必要があります。



### 課題5 スポーツを活用したまちづくりの推進

2023年（令和5年）3月に、石巻市、石巻商工会議所や石巻市スポーツ協会など官民13団体で組織する「いしのみきスポーツコミッション」を設立しました。これにより、従来の合宿誘致等のみならず、地域産業との連携を通じた地域の活性化に関わり、国が掲げる政策とも連動しながらスポーツによるまちづくりの展開が望まれます。



## 5 石巻市の目指すべき姿【本編P24】

第2次石巻市総合計画で掲げる「ひとりひとりが多彩に煌(きら)めき共に歩むまち」が本市の将来像であることを前提に、その実現に向け、スポーツからいかにアプローチするかという視点から、「スポーツでみんなが輝き 煌(きら)めきを増す」ことを目指すものとします。

さらに、国や県におけるスポーツの定義を踏まえ、「アクティブ(自発的・意識的・能動的)」というキーワードに着目し、「Active City」を標榜し、以下の基本理念を掲げるものとします。

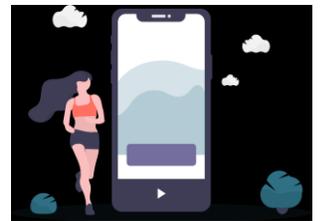
# スポーツでみんなが輝き <sup>きら</sup>煌めきを増す Active City Ishinomaki

## 6 基本方針【本編P26～27】

### 基本方針1 市民の多様なアクティブライフスタイルの推進

昨今、AI・IoT等現代社会を取り巻く状況は、急速な情報関連技術の革新が進むとともに、コロナ禍におけるテレワークの普及、さらには働き方改革の推進など目まぐるしい環境の変化により、生活様式も新たな時代へと大きく変化しています。

このような変化に対応し、市民の誰もが生きがいを持った健康的な生活を送れるよう、スポーツの持つ力をさらに活かしていきます。



### 基本方針2 絆とつながりのアクティベーションによる地域活性化の実現

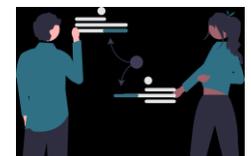
東京2020オリンピック・パラリンピック大会で、選手たちが対戦相手と称賛し合う姿は、スポーツを通して人と人がつながりあう印象的な姿を全世界に示し、スポーツの持つ力が再認識されたことは記憶に新しいところです。同様に、本市においても、東日本大震災からの歩みの中で、スポーツが市民の絆やつながりに与えた影響は計り知れません。



スポーツに親しむことのできる社会を実現するための機運醸成と環境を整え、市民一人ひとりが多様性を尊重し、それぞれの立場で今よりも一歩を踏み出し、「あつまり」「ともに」「つながる」ことでスポーツの持つ力が最大限に発揮され、地域全体の活性化につなげていくことを目指します。

### 基本方針3 みんなのアクティブチャレンジで新たな賑わいの創造

東日本大震災からの復興、コロナ禍による生活や社会の変化、人口減少、少子高齢化等、本市には様々な課題が顕在化しています。また、SDGsの理念が叶うよう各種施策との融合を図り、地方創生に対する積極的な取組が求められています。



本市が抱える課題解決に向けて、スポーツの持つ力と可能性を信じ、市民一人ひとりが前向きに取り組むことで、スポーツの価値をさらに高め、未来が活性化する道筋をつくり上げていくことを目指します。

## 7 施策体系【本編P 30～31】

基本理念	基本方針	基本施策
スポーツでみんなが輝き <small>かがや</small> Active City Ishinomaki 煌めきを増す <small>きら</small> <small>ま</small>	<b>1</b> 市民の多様な アクティブライフスタイルの推進	1 スポーツを「みる」楽しみの醸成
		2 スポーツを「する」楽しみの醸成
		3 子どもたちのスポーツの推進
		4 多様なライフスタイルにおける 気軽なスポーツ参加への意識醸成
		5 高齢者・障害者のスポーツの推進
		6 スポーツに親しむ環境の整備
	<b>2</b> 絆とつながりの アクティベーションによる 地域活性化の実現	1 様々な競技種目の認知度の充実
		2 各種競技団体の交流の推進
		3 プロスポーツチームや トップアスリートとの交流の推進
4 スポーツを通じた共生社会の実現		
<b>3</b> みんなの アクティブチャレンジで 新たな賑わいの創造	1 スポーツ合宿の誘致	
	2 全国大会等イベントの誘致	
	3 スポーツツーリズムの推進	
	4 アスリートの育成	
	5 指導者の育成	

## 8 成果指標【本編P 57】

本計画における目指す姿の達成度を測る成果指標として、以下の3つを定めます。目標値の確認については、市民へのアンケート調査を実施することで定期的に現状を把握し、次期計画を策定する際（又は必要に応じて中間年度）に達成状況を検証します。

### 基本方針1



### 基本方針2



### 基本方針3



## 9 推進体制・進行管理【本編P 58】

取組単位での施策進捗等“アウトプット”に関する数値や、成果指標の達成度合い等“アウトカム”に関する数値を定期的に計測し、年に1回以上、石巻市スポーツ推進審議会において計画の評価・検討を行いながら、P D C Aサイクルを繰り返すことにより、取組を継続的に改善していきます。